

2017年10月6日

日立製作所／サムスンと超音波診断装置の国内販売で合意

日立製作所は、Samsung Medison Co., Ltd. (サムスン) とサムスンのコンパクトモデル超音波診断装置「HS 40」の日本国内における販売に関して合意した。

同製品は、導入しやすい普及タイプでありながら、このクラスでは最大級の21.5インチモニターを搭載。また、優れた画像描出力を有し、鮮明な画像で検査部位を詳細に観察することができる。さらに、2軸式の可動式モニターアームが搭載されていることにより、検査者の姿勢に合わせてモニターの位置が調整しやすく検査者の負担を軽減することができ、静音性にも配慮して快適な検査環境を提供する。

なお、製品のサポートに関しては、一貫して日立製作所が行う。

日立は、ヘルスケア分野を社会イノベーション事業における注力4事業分野の一つと位置づけ、画像診断装置、粒子線がん治療システムなどの診断・臨床分野からITを活用したサービス、地域包括ケアなどのインフォマティクス分野まで、医療の質向上と効率化を実現するソリューションを提供している。特に診断分野において、超音波診断装置のグローバルナンバーワンをめざし、精密検査を行うハイエンドモデルから、日常診断で使うコンパクトモデルまで展開している。

以上